# おくのほそ道 ・種の浜・

**あらすじ** 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

| 第一段 | 第二段 | 第三段 |
| --- | --- | --- |
| 十六日、〔①　　〕を拾うために、種の浜に舟を走らせた。〔②　　〕という者が食事や酒を用意させ、従者を多く舟に乗せて向かう。〔③　　〕を受けて、すぐに到着した。 | 浜には粗末な漁師の小家とわびしい〔④　　〕があった。そこで茶や酒を飲みながら迎えた夕暮れの寂しさは非常に感動的であった。そこで句を詠んだ。 | その日のあらましは〔⑤　　〕に書かせて寺に残す。 |

**重要語句** 次の語句の意味を答えなさい。

したたむ

**重要文法** 傍線部を文法的に説明しなさい。

十六日、空霽れたれば

**内容理解** 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

**1** 芭蕉が種の浜に行った目的について書かれた箇所を本文から抜き出しなさい。

**2** 種の浜での芭蕉の行動として**あてはまらないもの**を次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　きれいな貝を拾った。
イ　茶や酒を飲んで夕暮れを迎えた。
ウ　句を詠んだ。
エ　その日の出来事を書いた紙は破り捨てた。

**3** 種の浜の情景がよく分かる一文はどこか、本文から**最初と最後の五字**（句読点を含む）を抜き出しなさい。

〜

**4** 次の文は、「波の間」や（一〇六・8）の句を説明したものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

種の浜に寄せる A　に B　に混じって、C　の花の D　花びらがある。